

令和3年度 事業報告

令和3年3月1日

おおぞらこども園

1. こども園の運営

(1) 所在地 貝塚市二色2丁目11-1

(2) 職員配置

(令和3年3月1日現在)

内訳

・園長	1名	
・事務長	1名	
・主幹保育教諭	2名	
・副主幹保育教諭	1名	
・保育教諭	24名	(主幹保育教諭・副主幹保育教諭含む)

(産休中の職員を含む)

・保育教諭補助
1名

・管理栄養士 1名

・調理員 5名

(淀川食品株式会社所属)

・安全指導員 2名

(シルバー人材派遣センター所属)

(3) 園児

・定員(2・3号認定) 90名 (実数106名)

・定員(1号認定・新2号認定) 15名 (実数 8名)

2. 教育・保育目標

教育基本法及び就学前の子どもに関する教育・保育等の総合的な提供の推進に関する法律に基づき「心身ともに健全で豊かな人間関係をもつ子どもの育成」を目指す。

全ての乳幼児に、“等しく”“心身ともに健全な生活と発達”“福祉と教育”を保障すべく愛ある教育と保育の振興と推進を目的とする。

- * 人権を守り一人ひとりを受容する。
- * くつろげる環境の中で体験的遊びを通して総合的な教育・保育を行う。
- * 一人ひとりの発達を理解し、主体活動を重視しながら生活のリズムを大切にする。
- * 国際的視野を持ち家庭的な教育・保育を行う。
- * 安全環境づくりに取り組み地域に根ざすこども園運営を目指す。
- * 教育・保育アセスメントを基にした教育・保育実践の中で、思いやりの心を育み健全な心と体づくりに取り組む。
- * 子ども一人ひとりの可能性を伸ばし、のびのびと遊び自ら考え行動する力を培う。

I 教育・保育時間

○保育料

3～5歳児クラスは無償化の対象

副食費（月額）：4,500円（2号認定） 3,000円（1号認定）

0～2歳児クラスの保育料は貝塚市が保護者宛にて決定通知書

0～2歳児クラスの副食費は保育料に含む

<1号認定><新2号認定>

午後3時31分以降の保育は延長保育となり別途料金が必要

延長保育料徴収金額一覧表（1名1回利用にかかる費用）

午後3時31分～午後4時00分	200円
午後4時01分～午後4時30分	200円
午後4時31分～午後5時00分	200円

*2歳児クラスで3歳の誕生日を迎えた子どもは1号認定・新2号認定に変更する事が可能

*新2号認定を受ける事で日額450円（最大月額11,300円まで）延長保育料の補助あり

<2・3号認定>

保育標準時間：午後6時01分以降の保育は延長保育で別途料金が必要

延長保育料徴収金額一覧表（1名1回利用にかかる費用）

時間	一般世帯	住民税非課税世帯	生活保護世帯
午後6時01分～午後6時30分	150円	100円	50円
午後6時31分～午後7時00分	150円	100円	50円

*保育短時間：午後5時01分以降の保育は延長保育となり30分毎に150円徴収

*延長保育料の支払い

：月末集計とし翌月初めに請求書で通知

*非課税世帯・生活保護世帯で減免利用は各証明書の提出が必要

（未提出は一般世帯料金での徴収）

*タッチパネルを入力で延長保育料を計算

○保育時間

開園時間：月曜日～土曜日 午前7時00分～午後7時00分

休園日：日曜日・国民の祝祭日・創立記念日・年末年始

感染症発生により園長及び学校医が必要と認めた時・災害発生時

閉園時間：午後7時00分

<1号認定><新2号認定>

基本時間：月曜日～金曜日：午前9時～午後3時30分

*新2号認定は午後5時まで

基本時間 : 月曜日～金曜日 : 午前9時～午後5時00分

土曜日 : 利用不可

休園日 お盆期間・年末年始・春休み

<2・3号認>

保育短時間

保育標準時間 : 午前9時00分～午後5時00分 (※午後5時01分以降別途有料)

延長保育時間 : 午前7時00分～午後6時00分

: 午後6時01分～午後7時00分 (※別途有料)

II 教育・保育内容

○カリキュラム・デイリープログラム等は園長・主幹保育教諭・保育教諭が子どもの発達に応じた内容を協議し努めた。

クラスごとに年間を通しての研究課題を決め研究を進め、その経過は、毎月のクラスだよりと年度末に進級だよりに掲載して教育・保育の理解を図った。

昨年度の研究発表をホームページで7月に公開した。

○教育・保育主体的遊び

ピラミッドメソッド保育を中心に展開し、環境保育の充実を図った。

*0歳児クラス

・担当制の充実を図った

・研究課題 (五感を育てる)

日々の保育の中で、様々な感触楽しめるようにし、色々な感触の違いを楽しむ中で、五感を刺激しながら、興味や関心を抱き、自ら進んで遊ぶ意欲を育んだ。

また手指を使つての遊びは子どもの成長・発達を良くしてくれるものと考えられる為、色々なもの触れ、ドロドロ・サラサラ・温かいなど様々な感触を手から感じ取り、つまんだり握ったりと指先の発達を促していけるよう取り組んだ。また、手指の発達のみならず生活面の発達・意欲の高まりにも繋がるようにしたいと考え、一年を通して子どもの成長を観察した。

月齢差がある0歳児クラスなので同じ遊びの中で、形、大きさ関わり方を変えながら、月齢に合わせて遊べるよう工夫した。

*1歳児クラス

・担当制の充実図った。

・研究課題 (素材遊び)

五感を刺激する素材遊びは、情緒が養われたり、感動を言葉にしようとする為、語彙力が増えたり、より豊かな表現を行えるようになった。また、1歳児は個人差が大きく、出来る事も異なってくる為、みんなが楽しめる素材遊びをテーマに取り組んだ。

さらに、毎月異なった素材でボール遊びをする事で、転がす、投げる、蹴るなど全身を動かしながら、体力もつけていけるよう進めてきた。1年間「素材遊び」をテーマに取り組んできたが、どの素

材遊びも子どもたちは意欲的に遊んでいた。子どもたち自身が初めて知る素材・初めて触れる素材も多く、興味を示しそれを何か知ろうとする好奇心や探求心がこの1年間でより育まれた。この素材遊びを通して少しずつ子どもたち自身が考えて遊びを発展させていくようになり、創造力や発想力も身に付いていた。

* 2歳児クラス

- ・げんき工房（運動遊び）、園庭でランニングに取り組み体力強化に努めた。
- ・研究課題（言葉を育む）

子どもたちの言葉の世界をより豊かに、広げていけるように様々な経験を通して言葉に触れ、知らなかった言葉を知るような環境作りに心掛けた。また、まだまだ言葉で表現する事が難しい時期でもあるため、子どもたちの気持ちを汲み取り、それを言葉で表現してみる事も大切にした。

4月から通して、自分の気持ちを言葉で伝える表現力や、コミュニケーション力の成長が見受けられた。また、語彙力が身につくにつれ、言葉の知識が増えていくと表現の仕方も変わっていき、表現の幅が広がっている様子も伺えた。

* 3歳児クラス

- ・第五中学校の校庭のランニングの充実を図った。
- ・研究課題（ごっこ遊び）

普段から使用しているままごとコーナーに様々な素材を用いて様々な場所で行った。普段とは違う環境や様々な素材を用いる事で自由な発想から想像力が豊かになり、やり取りを通してコミュニケーション能力を育めたらと思い「ごっこ遊び」を一年間の保育テーマとした。同時に指先を使った遊びをひよこ組から行っている事もあり今年度も引き続き粘土遊びや折り紙を通して指先を使える遊びを取り入れた。

1年間取り組んだ「ごっこ遊び」を通して、遊びの中で出来たルールを読み取る力や柔軟な想像力から創作力、そして表現する力が培われた。また遊びの中でやり取りが生まれ、他者との関わる力やコミュニケーション力の育ちに繋がった。

* 4歳児クラス

- ・英語遊び・体育指導 ・S I あそび 《ギルフォード教材》
- ・研究課題（自然遊び）

年間の保育テーマを「自然遊び」として、自然に触れ、その季節にしか味わえない遊びを取り入れながら「何故だろう」「こうしてみよう」という子どもたちの声や気持ちに耳を傾け、クラスで共有しながら楽しめる環境作りを心掛けた教育保育活動に取り組んだ。

散歩に出掛けて四季折々の景色を楽しみ、自然の中で見つけた枝やどんぐり、石などを使用して自分たちで玩具作りに挑戦し、新たに自然物製作コーナーの設置、年間を通しての泥団子作りや海水採取から実際に塩作りを行うなどの活動を通して、これまで以上に散歩に出掛けた時や園庭遊びの際には、子どもたち自ら自然に目を向けて観察し、変化に気付き、積極的に自然との関わりを持つ様になり、好奇心や探求心が育まれた。

更に、保育教諭から提案する教育保育活動ばかりではなく、可能な限り子どもたちの話し合いや

考える時間を大切に、言葉で自分の考えや思いを表現し、相手の言葉にも耳を傾け、互いに尊重し合いながら受け止め合える環境作りを心掛けて活動に取り組んだ。

活動内容・散歩の行き先・活動で使用する材料選びなどに、子どもたちの意見や希望を取り入れる事で、より集中して意欲的に取り組み、子どもたちの表情も生き生きとした笑顔が多く見られた。

* 5歳児クラス

- ・フェアリーキッズ（自然散策野外活動）・英語遊び・体育指導（剣道導入）S I あそび
《ギルフォード教材》・習字（硬筆・毛筆）・おおぞらステップ（知育遊び《そろばん》）
5歳児クラスの硬筆最終目的は、絵本を熟読し感想文を作成した後、皆の前で発表した。
- ・5歳児クラスがプレゼンテーションを、プロジェクターを使用して行った。
- ・藪内氏（絵画アトリエ・ズガ）によるワークショップ
Tシャツに小麦粉で絵を描き運動会で使用した。（小麦粉ろうわ染め）
- ・研究課題（伝統遊び）
伝承遊びを通して、特に素晴らしい姿だと感じたのは、持続して努力する力・楽しめる力である。竹馬などの難しい遊びにも積極的に挑戦し、自主的に継続して努力をする事で、出来た時の喜び・達成感を感じ、それが周りの子どもたちにも刺激となって連鎖していく姿には、大きな力となった。前期中期にかけては、室内・戸外共に新たな遊びを提供し、子どもたちの遊びの幅を広げていけるよう取り組んできた。新しい遊びを知る中で、健康的に体を動かし、友だちだけでなく、お家の方や祖父母の方と昔遊びを通してのコミュニケーションは子どもたちの心身の健康や成長において、大切な時間となった。その中で“幼児期までに育ててほしい10の姿”が養われた。

○0歳児～5歳児クラスまで散歩等戸外活動を通して自然と触れ合う活動を重視した。

年4回バスを利用して郊外保育を実施した。

バス代を保護者より徴収する。《バス代を園児数で割る（明細は公開）》

○アトリエ工房で3・4・5歳児クラスが合同で製作活動を行った。

（七夕・クリスマス・鬼の面等）

○食育活動を家庭・地域にアピール

当園のホームページで給食メニューの写真を公開し、職場でも閲覧出来る様に努めた。

おおぞら給食レシピ本作成〈浜手地区公民館・当園のんびりルームに設置〉

ホームページにおおぞらレシピを月ごとに公開した。

食育の保育を毎月19日前後に実施した。（食育保育活動内容を保護者に伝達）

食育の指導計画を再度見直し充実を図った。（手づくりの教材〈園の給食の写真等〉追加）

・アレルギー対応に努めた。

アレルギー児も他児と同じように食べられる「なかよし給食」の充実、またはそれに付随する業務を行った。

・鉄分を含んだおやつを工夫を行う。給食メニューを写真で公開（ホームページ）月平均栄養価と毎日のエネルギー量を掲載した。

○第64回全国保育研究大会フリー発表分科会に当園がオンライン研修で発表した。

- 外部講師依頼
 - 手話・絵画（アトリエ・ズガ）
 - 楽器指導（日本総合音楽研究から6月は職員12月は5歳児クラス）
- あひるの子劇団の公演を年2回行った。（2回はホームページで動画発信した）
- 絵本の充実
 - のんびりルームに新刊75冊追加（新刊絵本をホームページにて紹介）
 - 購入した絵本リストを冊子に作成と絵本の救急箱充実
- 行事後に保護者にアンケートを実施して回答を配布
- おおぞら通信（令和3年度の教育・保育計画の発行紙）
 - 教育・保育内容を図式化した内容と説明文を添付
- ホームページに今日の活動を発信（新型コロナウイルス感染防止のため掲示板に活動表・お知らせを中止した為にホームページで発信）
- 新型コロナウイルス感染防止のため、岸和田保健所の判断のもと、4月30日（金）から5月12日（水）まで休園した。
- 新型コロナウイルス感染防止のため、密をさけた教育・保育活動に努めた。

3. 地域交流事業・子育て支援事業

- 二色小学校
 - ・年長児が、園だより・給食だよりを小学校に届け、子どもたちが校長・教頭先生から小学校での生活の様子を聞く（園だより、給食だよりは小学校玄関で掲示）
 - ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく全体的な計画を持参し指導内容の連携に努めた。
- 第五中学校
 - ・津波に伴う避難訓練を令和4年1月14日（金）に第五中学校の校舎へ避難した。
 - ・校庭ランニング・菜園活動
 - ・木工室を使用して地域コーディネーターよりドールハウス・棚等寄贈。
- 公民館
 - ・公民館のおおぞらブースに、子育てのアドバイス・園だより・給食だより・おおぞらレシピの冊子等のお知らせを掲示した。
- その他
 - ・年3回すこやかネット会議（教育協議会・学校支援地域本部）
 - 1回（新型コロナウイルス感染防止のため中止）
 - 1回（新型コロナウイルス感染防止のため辞退）プリント等の配布のみ
 - ・園庭開放（親子1組）
 - ・貝塚いぶき作業所に陶芸活動参加
 - ・地域機関紙(パコネット)に当園の記事の連載
 - ・近隣に園だより・給食だよりを毎月配布（二色4丁目3番地に配布を追加）

- ・「おおぞら広場」と称したカテゴリーを追加して、職員が作成した絵本の読み聞かせの様子を録画しホームページに公開

令和3年度新型コロナウイルス感染防止のため中止した事業

- ・こども園体験事業
スマイルキッズ・グルメランチ・子どもロビーコンサート
- ・子育て支援事業
子育て相談の窓口設置（浜手地区公民館）・人形劇公演（浜手地区公民館）・夕涼み会（地域盆踊りと連携）・子育てセミナー等
- ・シニア世代交流
うぐいすクラブ・老人施設訪問・浜手地区公民館茶道クラブとの交流
- ・地域会議に参加、団体との連携協力の促進
二色校区福祉委員会参加・常任委員会
- ・貝塚市立二色小学校・貝塚市立第五中学校の入学式と卒業式
- ・二色小学校のおもちゃ広場（2年生）・社会見学（4年生）
- ・第五中学校3年生との交流（ふれあい遊び）
- ・地域貢献事業（しあわせネットワーク）の生活困窮レスキュー事業
- ・貝塚いぶき作業所との交流
いぶき祭りに園児の作品を展示
- ・わきはまこども園との交流（5歳児クラス）
《雪遊び・田舎体験・コンサート鑑賞等》
- ・試食会
- ・外部コンサート
- ・英語遊び（参観）

4. 職務担当

- 行事担当・月当番等担当保育教諭を定め、園長は総括指揮に努めた。
- 運営事務全般等は事務長が指揮に努めた。
保育士処遇改善加算Ⅰ・Ⅱ実施 処遇改善臨時特例事業賃金改善
- 管理栄養士のもと給食の充実に努めた。
- 学校医・薬剤師・歯科医・英語・体育指導員は外部委託契約。

5. 教育・保育設備

- 送迎時タッチパネルで、能率のよい運営を図った。
- 大型遊具を重点的にメンテナンス業者に委託し安全管理を図った。
令和3年1月に滑り台の撤去工事をした。
- 資金計画
委託費収入と補助金収入で円滑に進めた。

(施設機能強化事業補助金《避難車購入》・子育て支援保育士事業補助金)

○教育・保育環境備品の設備と充実を図った。

- カメラ1台・給食室冷蔵庫・子機電話・シュレッダー・洗濯機
- ホームベーカー1台・事務所にパソコン1台
- ベビーセンス(シエスタBEBE)4台

*新型コロナウイルス感染症に伴う購入

- ・3歳児4歳児クラス配膳台各クラス1台
- ・水フィルター式清浄機2台
- ・アクリル板パーテーション

*工事

- ・0・1歳児クラスのトイレ
- ・2歳児クラスのトイレ
- ・3歳児クラストイレの扉設置
- ・5歳児クラス倉庫のネジの取り換え
- ・更衣室の棚撤去
- ・西門の鍵の修理
- ・新駐車場の電信柱に防犯カメラ設置(4丁目住民より寄贈)
- ・プールと滑り台の撤去(20年経過)
(プール…衛生面と避難経路に設置のため<安全確保>)
(滑り台…劣化)

*その他

- ・ホームページリニューアル(今日の活動をホームページで閲覧可能)
- ・給食備品と設備の充実

○その他

- ・研修の充実(オンライン研修中心)
- ・園規定等の見直し
- ・職員福利厚生充実
- ・職員体制の改善
- ・職員の休憩時間確保
- ・非常災害備品の備えと点検
- ・職員・園児名簿等は別紙参照